



やまゆり

学校教育目標 **大地に根をはり 共に伸びよう 天までとどけ**

HP アドレス www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyabe/

☆欠席連絡は、マチコミメール(朝 8:00 まで)か連絡帳、それ以降は電話でお願いします ☆朝学校に着くのは、8:10~8:20 までの間です
☆登下校は決められた通学路以外使いません ☆帰宅後の外出は5時までです ☆放課後の学校への電話連絡は18時までをお願いします



令和4年度がスタートしました どうぞよろしくお祈りします

校長 梅田 巖

「令和」という元号には「春の訪れを告げる梅の花のように、明日への希望と共に、一人ひとりが大きく花を開かせる日本でありたい」という願いがこめられています。春の年度のスタートにも重なります。昨年度の創立40年では校章や校歌の由来について触れる機会をいただきました。創立当時の学校に対する願いがたくさん込められています。新年度のスタートの学校だよりでもぜひご紹介させていただこうと思います。

<校章について>



昭和57年4月1日に開校した上矢部小学校に対する希望、期待、そして地域の歴史、環境など取り入れた校章デザインを募集し、多数の応募の中から選ばれたのが現在の校章です。中央にかつての姥子山に見られたゆりの花びらを配して周囲を葉で囲んでいます。中央のゆりは「白ゆり」を配しています。白ゆりのもつ気高さ、清らかさと子どもの純真さとを結びつけています。花びらが3枚なのは「よく考える子」「思いやりのある子」「元気な子」で子どもの成長を願っています。6枚の葉は1年生から6年生まで、みんな仲良く努力するすがたを表しています。

花びらの白は、純白な心・葉の緑は縁なす大地、校名の赤は、輝く太陽、空間の青は広がる大空を表します。

<校歌について>

上矢部小学校の校歌は、昭和60年1月26日にでき上りました。作詞は下野庭小学校校長の渋谷重夫先生、作曲は国立音楽大学の溝上日出夫先生です。第1節では、この歴史と伝統豊かな戸塚の上矢部こそ地球上唯一の故郷であることに思いをはせ愛郷心を培いながら健康な心身を鍛え上げようとする子どもの意思をうたっています。第2節では、いつもいつも真理と新しい知識を求めて一心に勉強する上矢部小学校の子ども姿をうたっています。第3節では、上矢部小学校の子どもたちの希望のふるさと、母校へ寄せるほころしくなつかしい気持ちを力強く表現しています。いちばん最初のふしは、ごくやわらかく、心をこめて歌い出し、そして最後は大きく歌います。全体を大事に言葉の意味を考えながら歌うことにより、希望あふれる意欲をよびさましてくれる校歌です。

校歌	美しい星・地球 ここ上矢部の ゆたかな歴史 うけついで 心をみがきからだをきたえ なかよくやさしく 大きくなるう 今日も明日も はてしない空・青い ここ上矢部の ゆうゆう鳥が とんでいく 真理をもとめ ねばり強く しんせん はつらつ 大きくなるう 今日も明日も 大地に根をはる 若い木よ 天までとどけ 天までとどけ ああ きらめく 母校 上矢部小学校
----	--

<学校教育目標について>

平成10~11年に改訂された学習指導要領の全面実施(平成14年度)に合わせて、学校教育目標も改訂されました。当時の校長先生や先生方が話し合い、子どもにも馴染みのある校歌と連動するようにしたのがこの学校教育目標です。

創立当時のみなさんの上矢部小学校に対する期待をしっかりと受け止めるとともに、子どもたちの未来を見据え、本校の教育活動を充実してまいりたいと思います。保護者、地域の皆様、本年度もご支援ご協力のほどよろしくお祈りします。

がっこうきょういくもくひょう 学校教育目標

天までとどけ	共に伸びよう	大地に根をはり
--------	--------	---------